

大学番号：私301

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

西九州大学大学院 生活支援科学研究科

注2

## 【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人永原学園  
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

事務局長 アネガワ 姉川 ヒロユキ 博幸  
総務課長 モクオ 壺尾 タカヒロ 隆弘

電話番号 0952-52-4191

（夜間） 0952-37-9204

F A X 0952-52-4194

e-mail syomu@nisikyu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

生活支援科学研究科

＜地域生活支援学専攻（M）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. AC対象学部等を含む大学等の状況	2
3. 教員組織の状況	4
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	5

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人永原学園

## (2) 大学名

西九州大学大学院

## (3) 大学の位置

〒842-8585

佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 調査対象研究科等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科の 分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
生活支援科学研究科 地域生活支援学専攻 (博士前期課程)  修士(生活支援学)	社会学・社会 福祉学関係	2 年	5 人	10 人	基礎となる学部等  健康福祉学部 社会福祉学科 スポーツ健康福祉学科

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

## 2 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	西九州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
健康栄養学部 健康栄養学科	4	120	—	480	学士 (健康栄養学)	1.01	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
健康福祉学部 社会福祉学科	4	80	3年次 10人	340	学士 (社会福祉学)	0.68	昭和49年度	同上	
スポーツ健康福祉学科	4	50	—	200	学士 (スポーツ健康福祉学)	0.88	平成26年度	同上	
リハビリテーション学部 リハビリテーション学科						0.91			
理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (理学療法学)	1.05	平成19年度	同上	
作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	0.77	平成19年度	同上	
子ども学部 子ども学科	4	80	3年次 10人	340	学士 (子ども学)	1.08	平成21年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
心理カウンセリング学科	4	40	—	160	学士 (臨床心理学)	1.15	平成26年度	同上	
看護学部 看護学科	4	90	—	90	学士 (看護学)	1.04	平成30年度	佐賀県佐賀県小城市小城市176-27	※看護学科 平成30年度新設のため 収容定員90名
大学院 生活支援科学研究科									
健康栄養学専攻	2	2	—	4	修士 (健康栄養学)	0.50	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
地域生活支援学専攻 (博士前期課程)	2	5	—	10	修士 (生活支援学)	1.20	平成27年度	同上	
臨床心理学専攻	2	4	—	8	修士 (臨床心理学)	1.25	平成26年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
リハビリテーション学専攻	2	3	—	6	修士 (リハビリテーション学)	0.66	平成26年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
子ども学専攻	2	4	—	8	修士 (子ども学)	0.25	平成27年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
地域生活支援学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (生活支援学)	0.66	平成27年度	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9	
大学の名称	西九州大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
地域生活支援学科	2	100	—	200	短期大学士 (地域生活支援学)	0.71	平成29年度	佐賀県佐賀市神園3-18-15	
幼児保育学科	2	90	—	180	短期大学士 (保育学)	1.06	昭和40年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

### 3 教員組織の状況

＜生活支援科学研究科 地域生活支援学専攻（前期課程）＞

#### (1) 設置基準上の必要専任教員数

現在（報告書提出時）における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、現在（報告書提出時）における設置基準上の必要教授数	現在（報告書提出時）における設置基準上の必要研究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日 文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

#### (2) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	0	1	0	10	6	2	0	0	8
(10)	(2)	(0)	(0)	(12)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
9	0	3			7	0	1		
(9)	(0)	(3)							

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

#### (3) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
教授：68 准教授：65 その他の教育職員：60 歳	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）  
 および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

#### (4) 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{10} = \boxed{80} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### (5) 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{3}{8} = \boxed{37.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

#### 4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況		未履行事項についての実施計画	
	<p>・健康福祉学部スポーツ健康福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	改善意見	<p>3名の退職、学内異動による新規専任教員採用の人事を実施し、20歳代（着任時）講師と65歳の教育歴のある教授および60歳の教職の実務家経験実績のある准教授の計3名を採用した。そのことにより、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合を下げる事ができたものの、今後も継続して改善に努めたい。</p>	未履行	<p>今後の教育課程を見据えて教員組織を見直し、それによる組織編制案を策定し学内的なコンセンサスを得た後、採用人事を推進する予定である。</p>
	<p>・子ども学部心理カウンセリング学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	改善意見	<p>平成30年度以降の学科の新体制に即した教員採用を行うため、学科内に人事計画ワーキンググループを立ち上げ6回会議を開いた。その結果を踏まえ、教員採用として50歳代教員2名、40歳代2名、30歳代1名の教員を採用することになった。国家資格「公認心理師」カリキュラム、教職課程を視野に入れた人事を行い、教員体制の充実を図ることが出来た。</p>	履行済	
	<p>・生活支援科学研究科地域生活支援学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	改善意見	<p>下記、①、②の措置により指摘事項は改善した。 ①研究指導担当教員資格審査基準に基づく厳正な審査により若手教員1名を新たに研究指導担当として登用した。 ②平成29年度末をもって、定年規程に定める年齢を超える教員2名が退職した。</p>	履行済	
	<p>・生活支援科学研究科地域生活支援学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>	改善意見	<p>下記、①、②の措置により指摘事項は改善した。 ①平成29年において博士後期課程研究指導担当教員の資格審査基準を制定し、同基準に基づく厳正な審査により若手教員1名を新たに研究指導担当として登用した。 ②平成29年度末をもって、定年規定に定める年齢を超える教員2名が退職した。</p>	履行済	

<p>・同一設置者が設置する既設学部等（健康福祉学部社会福祉学科，西九州大学短期大学部地域生活支援学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>【健康福祉学部社会福祉学科】 本学科における社会福祉士国家試験現役合格者の割合を昨年度の40.0%から75.0%に向上させ、九州私立大学1位の合格率は過去最高となった。また、高校訪問時の回数を増加させ、オープンキャンパスにおいても本学科の特徴を、学科報等の回数を増加させた。特に高大連携としての福祉フェスタについては、佐賀県高等学校教育研究福祉部会並びに佐賀県社会福祉協議会との共催を得て、多数の高校生に本学科の魅力を発信し、受験への動機づけを高めている。</p> <p>【西九州大学短期大学部】 新設2年目を迎えて多文化生活支援コースのグローバル教育と多様な国際文化を体現学習できる新環境に魅力を感じた国内生と留学生の両志願と入学が僅かつつではあるが順調に進展している。又更に、福祉生活支援コースでは、当該国家資格(介護福祉士)取得を目指したアジア圏から多数の留学生入学者が得られ、学科総定員充足7割には未だ僅かに届かない結果ではあるが、改組新設した本学科の斬新な魅力が当該地域社会と志願者に確実に浸透しつつあると判断している。</p>	<p>【健康福祉学部社会福祉学科】 本学科が所属する健康福祉学部に加えて、他の保健医療関係学部との各部改組をも視野に入れた学部及び学科改組の検討を行う。さらに大学全体で取り組むブランディング事業をより具現化し、認知症高齢者へのマンパワー養成と具体的支援者のネットワーク化についても神埼市社会福祉協議会との連携を視野に入れて取り組む中で認知症介護予防に特化した特徴を打ち出す。加えて、佐賀県高等学校教育研究福祉部会、佐賀県及び神埼市社会福祉協議会との共催事業を通して福祉系大学進学への動機づけを高める。併せてより一層の広報活動について検討を進める。</p> <p>【西九州大学短期大学部】 本学科の異分野横断教育を趣旨とするコース制を活用した当該地域でのミドル専門職業人として“マルチに学びマルチに活躍”する実践社会人養成教育の特徴を受験生に直接伝える事を狙った学生募集戦術と併せ、高等教育機関としての今後の中期目標を企画委員会を中心に綿密に企画立案の上、戦略的計画に即して具体実施策を柔軟迅速に実動できるように、本学科の以後の順調な学生確保に臨んでいる。</p>
			未履行

- (注) ・前年度の設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。
- ・「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。